

## 弁護士登録1年目を振り返って

あぶみ よしのぶ  
会員 鑑 由暢



### 1 はじめに

私たち74期は、緊急事態宣言の影響で司法試験の実施が約3か月延期され、司法修習の日程も後ろ倒しになったため、一斉登録日が2022年4月21日となった。75期が一斉登録した2022年12月8日の時点では未だ登録から約7か月の状態であったが、名実ともに2年目の先輩弁護士となるにあたって、弁護士登録1年目を振り返りたい。

### 2 業務や会務等で経験したこと

#### (1) 業務について

私の所属事務所では約2か月の新人研修があるため、実際に弁護士業務を行うようになったのは、2022年6月からである。それから約8か月が経過するが、訴訟、危機管理、コーポレート、ファイナンス等の幅広い分野の案件を経験した。特に、特許権侵害訴訟や税務訴訟という深い専門性の必要な訴訟や、迅速な判断が求められる危機管理の案件は印象に残っている。

#### (2) 会務について

私は、新規登録弁護士研修の一環で、新進会員活動委員会に研修員として所属している。新進会員活動委員会は、登録5年目までの当会会員により構成される委員会であり、「新入会員歓迎会」や、若手会員が当会会長・副会長と語り合う「若手弁護士が語る会」等の企画を実施する委員会である。特に、「新入会員歓迎会」では、迎える側の大変さを経験することで、諸先輩方に温かく迎えていただいたことのありがたさを改めて実感した。

### 3 先輩や同期との交流で経験したこと

#### (1) 事務所内の活動について

私の所属事務所では複数のサークルが月に1回程度

の頻度で活動しており、私も、フットサル、テニス、バスケットボール、ウォーキング・ランニング、将棋等の様々なサークルに参加している。普段の業務では一緒に働くことのない方々と交流する貴重な機会であり、また、体力作りのための良い機会となっているため、今後も活動を継続していきたい。

#### (2) 事務所外の活動について

私は、所属事務所の先輩である石黒美幸会員に導かれて所属した会派で、様々な会派活動を経験した。私のような若手弁護士からベテラン弁護士まで、世代を超えた様々な当会会員が集まる場であり、事務所外の方々と親睦を深め、自らの識見を向上させる良い機会となっているため、今後も活動を継続していきたい。

また、司法研修所の民事弁護教官である田中秀幸会員とのご縁もあり、伊藤茂昭会員を紹介していただき、当会の宝塚歌劇愛好会にも所属している。私は、当会の宝塚歌劇愛好会に入会するまで宝塚歌劇を観劇したことはなかったが、入会後に複数回の観劇を経験し、その度に、タカラジェンヌの方々がプロフェッショナルとして芸事を極めようとする真摯な姿勢に感銘を受け、自らも法律のプロフェッショナルとして顧客に恥じない仕事をしようと決意を新たにしている。

### 4 おわりに

これまでの弁護士登録1年目を振り返ってみると、右も左もわからないまま無我夢中で走り抜けた1年であり、成長できたという実感は全くないのが実情である。もっとも、名実ともに2年目の先輩弁護士となることから、心身の健康を維持し、仕事の研鑽を深め、公私ともに充実させ、先輩として恥じないような弁護士になれるよう努めたい。